

チェロなど弦楽器を導入をし、二管編成のオーケストラとして団員も増強したものに生まれ変わる事になっております。大阪の文化創造の十年の具体的事業として大いなる期待が寄せられておりますが、在阪のプロオーケストラとしては、既に大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団などがあり、しかも海外からの来日公演ラッシュで聴衆の動員に苦労しており、同じ形のものであつてはクラシックファンをふやすことにはつながらないと思われまふ。けれども、新たな工夫を凝らし、特色あるものにしていけば、この新生オーケストラが大阪の文化、音楽に新しい息吹を吹き込むことも十分に可能であり、音楽家を初め広範な府民の期待にこたえることができると思つたのです。

知事は、府政運営方針の中で、文化は都市の活力源であり、大阪の文化性を高めると同時に府民の自主的、創造的な文化活動を積極的に支援をしていくとされ、すぐれた芸術性を有する新しい管弦楽団を創設するとも述べておられます。そのためには、オーケストラにとつて重要な役割を担つてまいります音楽監督や常任指揮者、マネージャー、コンサートマスターなど、楽団運営の中核としてふさわしい人材を確保することが必要であらうかと思つた。文化はむだとゆつりの中から生まれると言われ、お金のかかるものではありませんけれ

ども、大阪の文化発展のため、国際的なレベルの高い、特色あるオーケストラにして頂きたいと存じます。

また、大阪にあるクラシック用のコンサートホールは、すべて民間施設で、公立のものは一カ所もございません。幸い、本府では現代芸術文化センターを世界第一級の文化の殿堂としていくことが予定されておりますので、ぜひその中ですぐれた音楽が演奏できるような御配慮をお願いしたいと思つたのです。府民とともに歩む新生オーケストラの出発に際して、知事の御決意のほどをお尋ねいたします。

第二に、新しく管弦楽団に改組されることを機会に、従来の音楽団が演奏活動以外に果たしてこられました、中学、高校、その他アマチュアグループに対する実技指導などの役割や機能をより一層充実させ、広く府民のニーズにこたえていくべきであると思つた。

大阪は、従来から吹奏楽団や合唱団活動の大変盛んなところでもあり、多くの府民が、ベートーベンの第九やヘンデルのメサイアなどをオーケストラとともに演奏し、クラシックファンの増加に大きく寄与しております。

しかし一方、ママさんコーラスや職場のグループにとつて、すぐれた指導者を得がたいことや、練習の場、演奏の場の確保が困難なことが悩みの種となっております。したがいまし

て、出張指導や指導者の紹介を初め、練習場や演奏会場などの情報提供の機能を整備し、府民のニーズにこたえた生涯学習にも寄与できる体制を築いていくべきであると思つた。生活文化部長の御所見をお伺いしたいと存じます。

さて、あと三百八十九日で花と緑の国際博覧会に近づいてまいります花博について幾つかの御質問をしてみたいと存じます。

一昨年二月に、私は、我が党代表質問において、大阪府も花の万博に独自のパビリオンを出展してはどうかと御提案をしたところでございます。これを受けて、本府は、自然とともに生きる大阪の歴史と未来をテーマとしたいちよう館の発展を開催地元自治体としてお決め頂き、今月の二十五日には、その起工式がとり行われようとしております。

先日私は、機会を得まして、空から花博会場を拝見させて頂きました。予定どおり工事が着々と進められていることを大変うれしく思い、来年の開催に胸を膨らませているところでございます。また、パビリオンも既に二十七の民間企業グループが出展を決め、その中には、早くもガイド役の女性たちの募集を開始している企業もございませう。

さて、このガイドの名称が最近話題となつてまいりました。二十年前の日本万博の際はホステスと言われておりましたが、

この十九日から開催されるダッハらんど八九大阪では、案内役の名称が当初予定をされておりましたコンパニオンからダッハらんどガイドに変更されました。ふだん私たちが聞き流しているホステスやコンパニオンのような言葉の中には、女性差別の意識が隠されているものがあると指摘されたためだと伺つております。花博の際の女性ガイドの名称については、現在、花博協会においても検討されていると聞いておりますが、いちよう館については、どのようなお考えを持っていますか、お伺いをしたいと思います。

また、この女性ガイドたちが会場内で着用いたします制服について女性の間で大変関心があるのは、今も昔も変わらないうででございます。民間の出展企業では、有名なデザイナーに依頼して企業イメージを高めるようなデザインの制服をつくることに懸命であると聞いております。

内外から二十万人の観客を予定されている花博会場で、いちよう館に従事する女性たちが私たち大阪府民を代表してお客様の御案内をするわけですから、大阪ファッションの水準を疑われるようなものであつては困ります。そのためには、優秀なデザイナーの方々などの御協力を得て、大阪ファッションのすばらしさを世界に宣伝できるようにしたいと思つた。府のいちよう館の女性ガイドの制服につ